

第24回 国民文化祭・しずおか 2009

遠州森町の祭りと芸能

遠州森町、古都の芸能とお囃子



第24回 国民文化祭・しずおか 2009

遠州森町の祭りと芸能 遠州森町三島神社の祭礼にあわせた芸能大会
～遠州森町、古都の芸能とお囃子～

日時 11月7日(土) 第1部 11:00～13:30 「遠江一宮の稚児舞楽と越後根知山寺の延年」(稚児舞楽)
第2部 15:10～17:40 「京都祇園祭りの芸能と江戸天下祭のお囃子」(稚児舞・お囃子)

会場 森町太田山西光寺境内 (〒437-0215 静岡県周智郡森町森 473 番地) 駐車場/なし(祭典中につき天竜浜名湖鉄道《戸綿・遠州森駅下車》を御利用下さい。)

- ◇出演団体【県外出演団体】 根知山寺延年奉賛会(新潟県)、佐原囃子保存会(千葉県)
- 【県内出演団体】 吉岡囃子愛好会(掛川市)、宇刈神社神楽保存会(袋井市)、遠江国一宮小國神社古式舞楽保存会(森町)、天宮神社十二段舞楽保存会(森町)、山名神社天王祭舞楽保存会(森町)、常磐会(森町)
- 【祭礼関係】 森町三島神社祭礼神幸渡御・町内各社屋台14台
- ◇特別出演者 解説 中村茂子(実践女子大講師)、樋口 昭(日本音楽研究者)

問い合わせ先 第24回国民文化祭森町実行委員会(森町教育委員会内) 電話 0538-85-1112

プログラム

日時 **11/7** 土

会場 **太田山西光寺境内**

特別出演者 解説／実践女子大講師 中村茂子
日本音楽研究者 樋口 昭

●10:50~

オープニング [遠州森町 常磐会]

第1部

遠江一宮の稚児舞楽と 越後根知山寺の延年

●11:15~11:50

国指定重要無形民俗文化財「小國神社の舞楽」

[遠江国一宮小國神社古式舞楽保存会]

千年以上昔、小國社が遠州一宮になった頃伝播したと見られる舞楽。天宮の舞楽とは左右一対をなすもので、かつては旧暦二月の例祭に舞われてきました。

舞楽十二段(演目)の十二は、物を生み出す六(陸)の倍数であり、舞楽二段目の色香は、最早鎌倉期には中央で途絶えていた菩薩舞そのもので、曲や手(動作や構成)は、平安末期の奈良興福寺楽所伝来の特徴をよく残しており、全国的に見ても特に貴重な舞楽です。



●11:50~13:00

国指定重要無形民俗文化財「根知山寺の延年」

[新潟県糸魚川市根知山寺 根知山寺延年奉賛会]

新潟県の西部に位置する糸魚川市根知山寺日吉神社・金蔵院に伝承する芸能で、延年とは、一般に法会後の余興的な歌舞遊宴を言います。この山寺の舞は、舞楽・神楽・風流・万歳・獅子舞で構成され、まさに延年の仕組みのままで、中心となる「おてご舞」は、風流・舞楽の合体する内容を持ち、風流小唄調りの古体を継承しています。鎌倉期以降、都から北陸方面に伝えられた舞が、時代とともに多彩な芸能を次々に取り入れた様子を是非ご覧下さい。



●13:10~13:25

国指定重要無形民俗文化財「天宮神社舞楽十二段」

[天宮神社十二段舞楽保存会]

天宮神社の舞楽は、社記によれば藤原純足の赴任により伝えられたとされます。当社が、水を司る重要な雨乞(雨宮)の古社であることから一宮の摂社に繰り入れられ、舞楽も本社小國社と並んで奉納されるようになったと見られます。

今回は、十二段目の獅子を披露しますが、この獅子舞は、三河鳳来寺山の獅子舞にも似た中世の魔除け鎮魂の獅子として、見る者を楽しませてくれる舞です。



お問合せは

第24回国民文化祭森町実行委員会

森町教育委員会 ☎0538(85)1112

Eメール ● kokubunsai@town.shizuoka-mori.jp

ホームページ ● <http://www.town.morimachi.shizuoka.jp>

携帯サイト ● <http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/m>



第2部

京都祇園祭の芸能と 江戸天下祭のお囃子

●15:20~15:30

「宇川神社のお神楽」

[袋井市宇川 宇川神社神楽保存会]

宇川春園の真言宗西楽寺は、遠江国府八幡宮寺の本寺で、宇川・山梨・飯田の祇園会執行に深く関係し、古くは飯田山名神社の祇園の舞を掌握してきたお寺と見られます。宇川の神社も、古くは西楽寺の下にあったと考えられます。現在、この神楽は秋の祭りに初お供(氏子入り)の祈願に応じて舞われます。舞台は、飯田山名神社天王祭舞楽の舞台構造とよく似て、後部を御座で仕切る楽屋と前面の舞台に分かれ、稚児二人で舞います。



●15:30~16:10

国指定重要無形民俗文化財「山名神社天王祭舞楽」

[山名神社天王祭 舞楽保存会]

京都祇園祭には、かつて生き稚児の舞がありましたが、現在は木彫り人形が羯鼓を腹につけて飾られるだけです。また、曲芸的な舞もありましたが、これも途絶えてしまいました。飯田山名神社の芸能は、全八番の構成ですが、そのなかではじめに舞われる八初見(八撥)と四番の獅子(二人獅子)が曲・舞ともにベースとなり、曲芸的な龍、鷲舞にあたる鶴、蟾蜍山に関係するカマキリなどが登場し、全国的に見ても非常に貴重な祇園会の舞です。



●16:20~16:40

「吉岡囃子」

[掛川市吉岡 吉岡囃子愛好会]

掛川市吉岡は、袋井市山梨から掛川に通じる北の東海道沿いの集落で原野谷川の右岸に所在し、八王子社は、地頭原氏の菩提寺春林院の鎮守社とみられます。毎年十月初旬の土・日曜日には、例祭が執行され屋台の引き廻しが行われます。伝えによれば、天保初年頃、江戸の囃子衆を招聘して伝授されたといわれ、当時の文人吉岡家・大場家の旦那衆が仲取り持ちをしたものと考えられます。見どころは、出囃子の儀式作法と屋台囃子です。



●16:40~17:10

国指定重要無形民俗文化財「佐原囃子」

[千葉県香取市佐原 佐原囃子保存会]

利根川流域の水運で繁盛した佐原には、夏の祇園と秋の諏訪祭礼があり、両祭礼には合計二十四台の山車が繰り出され賑やかなお囃子が囃されます。この囃子は、江戸天下祭りの流れによる、役物(儀式曲)・段物(古典大曲)・端物(流行唄)に分類され、森の祭囃子に今は用いない鼓も加わります。見所は、この囃子にあわせる手踊りで、老若男女が艶やかな衣装に鉢巻をして踊ります。粋な江戸囃子が充分堪能できます。



●17:10~17:40

町指定無形民俗文化財「森の祭り囃子」

[遠州森町 常磐会]

森の祭は、喧嘩祭無礼講とも言われ、粋で快せな「森の石松」と交錯します。囃子の伝来は判然としませんが、「江戸からの秋葉道者の笠の影で街通りに日が照らない」と謳われるほどの賑わいがあった江戸後期と思われる。嘉永五(一八五二)年には、祭礼が華美なもので村役の御改もあり、また、文久三(一八六三)年の文書には「神楽屋台」と見え、この頃には、今のような山車と屋台が登場し、お囃子も賑やかに行われていたと見られます。



遠州森町の祭りと芸能 日程表

平成21年11月7日(土曜日)

時 刻	森の祭 神事・祭礼	国民文化祭の舞台芸能進行
8:00		
9:00		出演団体リハーサル 小國神社・山名神社 天宮神社・宇刈神社
10:00	三嶋神社本祭	休憩(1時間 弁当可)
11:00		:30 第1部 開場開門観衆入場 オープニング 常磐会 約10分 :50スタンバイ 開会挨拶・解説 15分 :15 小國神社 延 舞 5分 :20 同 色 香 15分 :35 同 太平楽 15分 :50 解説(10)
12:00		:00 根知山寺 あくまはらい 10分 :10 くるい舞 8分 :18 おててこ舞 17分 :35 鯛釣り 12分 :47 獅子舞など 8分
13:00	神幸祭 渡御 13:40 出発	:00 挨拶町長 5分 :05 解説(5) :10 天宮神社 獅子 15分 :25 第1部 終了観衆退出閉門 休 憩(30分)
14:30	渡御行列仲町休憩出発	:00 吉岡囃子・佐原囃子・常磐会リハ :30 リハ終了(各団体10分程度)
15:10		:30 第2部 開場開門観衆入場 :10 スタンバイ 再開挨拶・解説 10分 :20 宇刈神社 初氏子の神楽 10分 :30 山名神社 八初児 10分 :40 獅子 15分 :55 龍 15分
15:55		:10 解説 10分 :20 吉岡お囃子全5曲 20分 :40 佐原囃子 全9曲 30分 :10 常磐会 30分
17:10		:40 閉 会 挨 拶
17:40		:00 第2部 終了観衆退出閉門
18:00		音響・照明等片付け
19:00		看板
20:00		本日分の片付け終了
21:00		

森町独自事業開催会場西光寺境内図 (2)

